



園長 引地美津代

本格的な夏遊びの季節になりました。

かえで保育園の園庭では、まだ、セミの鳴き声は聞こえませんが、もうセミは鳴く準備をしていることでしょう。今のうちに、虫網やかごを準備しておかないと…

そして、今年も各クラスで様々な野菜の栽培が始まりました。今年もパーゴラのマスカットはたくさん実をつけてくれています。5月に植えたオリーブもたくさん実がつけました。秋にはオリーブオイルが作れそうです。

新緑の季節から初夏を越えました。6月30日は「夏越大祓い」という儀式があるそうです。これは一年の半分が過ぎ、1月1日から半年の邪気をはらい、後半12月31日まで半年をよく過ごすというためのお祭りだそうです。暑い夏を楽しく過ごし、収穫の秋を楽しみに子どもたちと穏やかな生活を過ごしたいと思います。

さて、先日の親子遠足は暑い中、ご参加いただきありがとうございました。初めての現地集合解散方式での遠足でした。今回は、蒸し暑い時期の遠足でしたので、長い時間車やバスに揺られず、作っていただいたお弁当もできるだけ早く食べられるよう場所・集合時間を考えました。小さい兄弟がいらっしゃる方も妊婦の方もまた、お父様の途中参加もできましたので、様々なご意見は頂きましたが、お子様が保護者の方と半日、にこにこ顔で過ごしてくれたことが何よりよかったですと思います。暑い中のご参加、ご協力ありがとうございました。

バス遠足(子どものみ)は秋に3歳以上児で計画しますので楽しみにしてください。

かえで保育園が始まり6年目を迎えています。先日卒園されたご父兄と駅前ではったり出会い、昔の懐かしい話をしました。保育園に入って初めて子どもを介しての友人ができ、初めは園で顔を合わせて挨拶する程度だったけれども、少しずつ深まり、今も子育ての情報交換などを行っているといわれていました。うれしいことです。同園会ものぞいてくださるとのこと。ありがたいですね。

かえで保育園でも子どもたちはもちろんの事、保護者の方々も様々な場面での出会いがあり、お付き合いが始まっています。だいち組では、長い方は兄弟の時を合わせると6年以上になる方も出てきました。私も保育の世界に入って30数年経ちました。一年目に受け持った2歳児クラスの子どもたちはもう30歳を超え、すっかり、子育て世代に入っているようです。保育で出会った子どもたちは千人を超えています。これは私の宝物です。

人との付き合いは一コマの出会いから始まります。そして喜びや悲しみを分かち合ったり励まし合ったりして関係は深まり、人生観を向上させてくれます。でも、つまずきがあると自分の生活を変えないといけないような辛いことになる場合もあります。できれば後者は避けたいですね。

かえで保育園での出会いが子どもたちの未来のために充実し、素敵なものになるよう保護者の方々に無理をお願いして行事の手伝いから始まり、良い出会いをお手伝いしたいと『かえでカフェ』『ダンディタイム』を立ち上げました。様々なお仕事やご家庭の方が保育園という箱の中で出会い、お付き合いが始まります。どうぞ気負わず、卒園生の保護者の方のように少しずつ、深めていきながら末永いお付き合いができるような関係を築いていってほしいと思います。

先日のダンディタイムの際、集まる企画がよくあると聞きました。子どもたちにとっては楽しい集いですが、親子ともに負担にならない集まりであればよいですが。できれば・・・これから夏の開放的な時期になり、お出かけも多くなるとは思いますが、『かえでカフェ・ダンディタイム』を優先していただき、お子様の生活のお手伝いにお時間を頂ければ嬉しいです。

そして、宣伝とお誘いです！

かえでカフェでは、朝10時から手作りおもちゃ・子どもの作品を入れる額づくり・ピアノカバーの作成など。ダンディタイムは、そうめん流し・ペンキ塗り・園庭整備(植樹検討)記念事業など皆さん、ご参加お待ちしております！！

にこにこメッセージ♪

梅雨真っ只中、特にこの時期は天気予報が気になります。

大人は洗濯の段取りなどで雨が続くと憂鬱、こどもは雨が続くとかさや長靴、レインコートの出番増えるんです♪

5月の保護者会の時に、こどもたちが撮影した写真をスライドでご紹介させていただきましたが、その中で2歳児クラスの男の子が、紫陽花の花の蕾を「ブロッコリー」と表現し撮影した作品がありました。覚えていますか？こどもならではのすてきな表現の作品でした。その男の子にとってはこんなところにブロッコリーが、早く食べたいなーと思っていた緑の物体が、色づき始め、きれいな花に変化していくのを見てどのような発見があったのでしょうか。成長とともに様々な気づきがあります。こどもたちに、これは「ブロッコリーではなく、紫陽花なんだよ」と答えを出さず、見守っています。季節が移り変わり、きれいに色づく紫陽花をこどもたちと共に大切に育て、新たな気づきと発見が持てるような環境作りをすることが保育者の役割だ地感しています。

かえで保育園では、つぼみぐみからクラスごとに様々な野菜などを育てていますが、日に日に成長していく植物の成長を報告しに来てくれるこどもたちがいます。

晴れの日も、雨の後にも園庭に出ると水やりをしてくれるこどもたち、何やら話しかけてくれる微笑ましい姿も見られます。こどもたちの思いや声が届き、大きくなることを願い梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。

藤森 寿美

～めばえ・ふたばのお願い～

- ・水遊びはパンツでします。必ず名前の記入をお願いします。

～つぼみぐみからのお願い

- ・プールが始まりますので水着（あれば）タオルのご準備・健康調査票の記入もよろしくお願いいたします。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・7月中旬からプールが始まります。健康調査表の記入漏れがないように、必ずご記入をお願いいたします。水着・タオル・帽子等を忘れるとプールには入れません。必ず確認ください。

【せんせいからのおはなしコーナー】

毎日少しずつ暑さも増し、照らされる陽ざしに日陰を探す季節になってきました。

そんな暑い中、最近の私のマイブームはハンドメイドです。いわゆる“DIY”です。外は暑いので涼しく家の中でピアス、ブレスレット、ネックレス、キーホルダーなどアクセサリを中心に作っています。好きな形と、色、柄の物を組み合わせると自分だけのオリジナルなものが作れることが楽しくてハマってしまいました。

保育園に出勤する時は朝ばたばたする事が多くつけてくる事は出来ないのですがゆっくり出来る日は付けて来ようと思います。又見かけたらどんなのかな？と見てもらえると嬉しいです。上手くできるようになったらかえでカフェで楽しみたいです。

三谷 梨緒

ねらい：「色々なものに触って面白さを感じる」

う た：「うみ・おもちゃのチャチャチャ・ポウズ・チュッチュッコッコ」

天気の良い日が続き、毎日汗をびっしょりかいて楽しんでます。お部屋の玩具も楽しいですが、園庭だって面白さがいっぱいです。園庭に行く準備を始めるとなんだかソワソワしだすめばえさん。みんながかぶる帽子を持ってくと「お外だ～！」と目をキラキラさせて、ランダのドアに一直線です。めばえのテラスの芝生を踏んで、次は土まで。色々な感触を足の裏や手のひらで感じています。



“土をぎゅっぎゅっ”

暑い日差しが続く中、元気に園庭で遊ぶめばえさん。しばらくテントの下で風を感じて涼んでいますが、ふと下に目をやると“土”が！ぎゅっと握ってみると「ひんやり～」「さらさら～」と土が気持ちいいのか何度も何度も握っては落とすを繰り返します。感触も楽しく、目で見ても細い糸のように土が落ちていく様子が面白いようで、土から目が離れませんでした。



“もっと触りたい”

土に慣れてくると、テントの下から出て自分で土山のところまでやってきました。土山に置いてあったスコップやバケツを手にしてなんだか嬉しそうです。周りをよく見ているのか器用にスコップを持って土を掘り、すくった土をバケツに入れたり、ザクザクという刺さる音を楽しんだりしていました。お兄さんお姉さんが作ったカップの砂山が大好きで、作ってもらったら「えいっ」と潰して喜んでます。



“お外じゃなくても”

雨の日も多かった先月。そんな日はランチルームでも遊びます。跳び箱の上にマットを敷いたマット山は、はいはいが大好きなめばえさんにぴったり。ずりばいの子もはいはいの子も歩く子もみんな好きなようにお山に上っていきます。上るのは楽しいけど、下るのはちょっぴりこわい……。それでも恐る恐る下りていき、少し達成感を味わえためばえさんでした。

様々なものに興味を持ち始めているめばえさん。お部屋にあるモビールや見たことのない新しいものには怖いもの知らずで手を伸ばして触りたがります。きっと「あれはなあに？」「動いてるよ、まって！」と手を伸ばし、触ってみると「意外と固い」「よくわかんない」と一人ひとりが違う思いを持ちながら“モノ”と出会っているのだなあと感じます。子どもの表情を見ていると目をまあるくして驚いたり、嬉しくてにいと笑ったり、時には手をパチパチさせて喜んだり、全く違う表情を見せてくれます。それが、大人を目線から見ると「こんなことで？」と思うこともありますが、それが子どもの素直な感覚で、その感覚を知るたびに もっとみんなのことを知りたいな、見てみたいな、と思います。

～ふたばぐみ～

ねらい：「プール・泥あそびをたくさんしよう」

う た：「うみ」「おばけなんてないさ」 わらべうた：「ももや」「オフネガ」

蒸し暑い日が続く中、園庭に出ると水あそびを始めたり、滑り台を何度もしたりして暑さなんて関係ない！ふたばぐみです。雨が降っていると、外を見ながら「わぁ！あめいっぱい！」と言いながらどんどん子どもたちが増えてきて、みんなで雨を眺めている姿はとても可愛いです。子どもたちにとって雨は嬉しいことのひとつなんだなぁと感じました。

～水筆あそび～



始めて筆を持つことにとても興味をしめして描く気持ち満々でした。ダンボールに水をつけて自由に描ける嬉しさがとても伝わりました。水遊びが好きなふたばぐみですので、水のお絵かきは不思議でがいっぱいで嬉しかったことだと思います。筆の持ち方もさまになっていて色々な場所に描いていると思えば、途中から手を使って描いている友達もいました。つぼみぐみがテラスで水筆を時にやっているのにお邪魔して描いたりもしているので、色々な場所で行えたらいいなぁと思っています。



～雨上がりの園庭あそび～

雨が上がった次の日「あめやんだね！おそとにいこう！」と声をかけると、帽子をかぶってとても喜んで園庭にいくふたばぐみです。さっそく砂山の所にたまった水たまりへいき入れるかなの迷いもなく足をつかっていきます。一人はいるとまた一人と楽しそうにみんなで入り、水をカップですくったり足でバシャバシャしてみたりしていました。途中から泥をカップやバケツに入れて砂とは違ったかたまりにきづき、ひっくり返してもあまり落ちてこないなどと色々なことを試してみたりもしていました。バケツに泥水を運んで流してはまたくんでとくりかえしたり、子どもたちからの発想にすごいなぁと関心する日々です。まだまだ梅雨はあけないので、雨上がりの園庭あそびが楽しみです。保護者の皆様いつもどろんこになった服のお洗濯ありがとうございます。

“担任の思い”

6月は雨が降った次の日にはやんで、また降っての繰り返しだったので子ども達もいつも部屋ばかりでなくとても嬉しそうに伸び伸びと遊んでいました。まだ雨は続きますので盆踊りや体操をしたり運動あそびをしたりして体を使ってあそんだり、シール貼りやお絵かき・寒天粘土などゆったりとしたあそびをしていきたいと思います。雨の上がった時は水泥あそびをしたり、散歩に出かけたりしていこうと思います。食事ではギャラリーでも飾っていましたが、自分で食べたい気持ち、お友達と一緒に楽しく食べるといった様子がみられるようになってきたのでこれからも暑さに負けずたくさん色々な食材を食べて行きたいと思っています。

西口智子・日笠加菜・林千紗

ねらい：「全身で水に触れる楽しさを感じよう」

う た：「きらきら星、三ツ矢サイダー」

雨が続き日もありましたが、子どもたちの興味が広がって遊びが深まってきました。雨の日でも園庭に出られるように雨カッパも一人ひとりできて自分の洋服のようにウキウキでした。これから暑くなり、水あそびや泥んこあそびがさらに楽しくなってきます。全身で触れることができるようにしていきます。

“野菜をさわってみよう！”



4月から簡単なクッキングをする機会を多く持つようにしてきました。はじめは、いつもと違う活動に興味津々という様子の子もたちでした。次第に、手でちぎる感触やクッキングをしながらのつまみ食いにも魅了されていたようです。前回と違う野菜が出てくるとその違いに気づき、「これなに」と疑問を抱くようになりました。クッキングの始めに栄養士の先生に野菜を見せてもらい名前を聞くと嬉しそうに野菜の名前を何度も言いながらクッキングをしています。レタス・にんじん・スナップエンドウ・新玉ねぎ・トウモロコシと旬の野菜に触れてきました。お家に帰ってからもご飯のお手伝いをしたり、にんじんやかぼちゃもそのまま食べてみたいと興味を持っていた話を聞いて担任も嬉しかったです。

“これなーんだ”

クッキングを繰り返していく内に、見たことのある食材を見ると「あ、レタスだ」と子ども同士で指をさして笑いあっていました。保育者から「これなにかな」とクイズを出してご飯を食べていました。すると、ある日、子どもたちの昼食時の会話を聞いていると「ねえねえ、これなーんだ」とクイズの出し合いをしていました。野菜でもお肉でもなんでもクイズを出して、「ピンポン」と正解をすればくっくと食べてにっこりと笑いあっています。苦手なものでも子ども同士でクイズを出しているうちに、楽しくなりお友だちと一緒に食べていました。保育者から、声かけをして食材を口へ運ぶよりも子ども同士で会話を楽しんでいるほうが、自然と食べられるのだと改めて感じました。

“きょうのごはんなあに”

クイズを繰り返していると、外遊びから元気良く「ただいま」と帰ってきます。二言目には、「今日のご飯なに」と聞く子が増えてきました。テーブル毎に揃って挨拶をする前に献立を伝えるようにしてみました。それから、以前よりも食事時の集中力が持続するようになった気がします。野菜も目の前で配膳をしているときに、子ども自身に尋ねると「小さくする」「いっぱい食べる」と伝えてくれるので量を調整すると苦手な野菜でも一口で頑張っ食べたり、好きなものがたっぷり入っているときにはちょっとずつ食べてみたりしている子どもたちです。

“担任の思い”

つぼみのクッキングは、見た目ですぐに苦手意識を持っている野菜を、美味しい物として出会ってほしいと思い、栄養士と話し合って計画をしました。回数を重ねるごとに触れた野菜は自然と楽しんで食べることができるようになってきています。それに、加えてお友だちと一緒に食べる効果は素晴らしいです。栽培では園庭でオクラを育てていますので、夏には苦手なオクラも好きになってくれたらうれしいです。おいしい食材においしい時期に出会うことは大切ですね。

ねらい：「プールや泡遊びなど夏の遊びをいっぱい楽しもう」

う た：「せかいじゅうのこどもたちが」「ドレミの歌」

遊んでいる時、食事をする時など生活の中で子どもたち同士の会話が多くなってきました。6月は“話を聞いてやってみよう”をねらいとして過ごしてきましたが、少しずつ自分のことだけでなくお友達の話も聞いてみようとする姿が見られてきました。最近では「〇〇はどうか？」「どうしたらいいと思う？」など子どもたちに質問し、その都度返ってくる様々な答えに驚いたり、笑えたりと楽しい日々を過ごしています。



ラディッシュ栽培

「まだ赤ちゃんやから抜いたらダメ」と言っていた子どもたちから「もう抜いてもいいかな！」という言葉に変わったのでいよいよラディッシュの収穫してみることにしました。大きい物や小さい物、形が変わっている物など様々なラディッシュを収穫することができました。つぼみ組やだいち組のお友達が来ても「やっていいよ」と収穫を快くさせてあげていました。



実際に食べてみようとして皆の前で包丁を使って半分に切ると…

「えっ、白色やん」と驚いた表情を見せる子どもたち。皮は赤色なので中身も赤色に間違いはないと思っていた子どもたちにとっては衝撃の白さだったようです。食べてみると少し辛さがありましたがマヨネーズで和えておいしくいただきました。たくさん収穫できたので野菜スタンプにもして遊びました。



どうやったら船は浮く？

ある日、カレンダーの紙を折り紙にして船を作りました。すると「ふねしたい」と水が入ったたらいにそっと入れてみました。でも紙でできているのですぐに沈んでしまいました。担任が「何でかな？」と言った一言を聞いていたお友達が「テープ貼ったらいいんちゃう？」と提案してくれたので次はテープを貼って浮かべてみました。でも耐久時間が伸びただけで結果は同じ…。他に浮くものはないかと“浮くもの探し”が始まりました。その中で子どもたちが興味をもったのは発砲スチロールのトレー！これなら浮くと全員一致で意見が合いトレーを使っての船づくりが始まりました。今は色を塗ったり、作った人を乗せてみたりと色々試行錯誤しながら楽しく遊んでいます。



“担任の思い”

遊びだけでなくお友達と喧嘩になってしまったときも担任との話だけでなくひかり・だいちのお友達に話を聞いてもらったり解決策をだしてもらったりしながら日々過ごしています。そしてどんどん自分の興味があることに遊びを見つけているいぶき組です。船づくりもお友達とお話したり、ひらめいたりしながら“やってみよう”を実際にするのが楽しく盛り上がって遊んでいます。これからプールも始まるので船もプール遊びの中で楽しめるような遊びへと変わっていかばいいなと思っています。水遊びや泡遊び、色水あそびなど様々なものに興味をもって十分に楽しんでほしいと思います。

ねらい：「自分の思いを相手に言葉で伝えよう」

う た：「線路は続くよどこまでも」

先月かえでゆうびんでも紹介したトマト栽培を始めてから 1 ヶ月がたちました。きれいな花も咲き、実もつきましたが、小さなうちに取れてしまうことが続きました。「赤ちゃんにも優しく触らないと取れちゃうこと教えてあげないとあかね。」と子どもたち同士で話したり、「がんばれ～！」とトマトに話しかけたりする姿も見られました。みんなで大きく育ったトマトを食べることが出来るように 7 月もみんなでお世話していきます。



“ゼリー屋さんごっこ”

5 月ではボディペインティングやローラーなど、様々な色を使った絵の具遊びを楽しみましたが、6 月では色水遊びが始まりました。

たくさんのゼリーカップを出すと「よし！ゼリー屋さんしよう！」と張り切って、小さなカップにひとつひとつ色水を作り始めました。一色一色の色を楽しむ子、いろいろな色を混ぜ合わせて、自分だけの色を作る子、と様々でしたが、どの子どもとも集中して作っていました。いざゼリーが出来上がると、「はい！いらっしゃい、いらっしゃい！ゼリー屋さんだよ！おいしいよ！」と楽しそうな声が聞こえてきました。小さなお友達から先生まで、たくさんのお客さんにゼリーを食べに来てもらって、大忙しのゼリー屋さんでした。



“泥んこ大作戦”

雨が上がった園庭は、たのしいことがいっぱい！

子どもたちの泥んこ大作戦が始まりました。「今日は園庭で泥んこ大作戦をします！したい人は砂山に集合！」と声をかけるとたくさん子どもたちが集まってくれました。初めは泥がつくことを気にしていたお友達もいましたが、砂山を掘って泥んこ風呂にしたり、スコップで掘って水路を作ったり…気が付くと顔にも泥んこがついていても気が付かないほど夢中になって遊んでいました。どんどん水路が長くなっていき、遊びが深くなると「スタートとゴールのお水の冷たさが違う！」「こちらの泥のほうが気持ちい！」と、不思議や興味が広がっていき



ました。ご飯の時間が来ても夢中になるほど、じっくり遊びこんでいました。

“担任の思い”

6 月に入り、わくわくの日が始まりました。今よりもっといぶき・だいちと深く関わっていくことが出来るようにと始めたわくわくの日。お部屋とお外にそれぞれ遊びのコーナーがあり、自分たちで好きな遊びを探して、自由に遊びます。みんなそれぞれどこで遊ぼうか考えて自分の好きな場所で集中して遊んだり、同じ場所でじっくり遊んだり…。その中で以前よりいろんなお友達と関わる機会が増えてきました。とくにだいちぐみの遊んでいるところが気になるようで、色水ひとつでも、どうすればお兄さんお姉さんのような色ができるのか、一生懸命真似したり話しかけたりする姿が見られます。7 月も子どもたちがわくわくできるようなコーナーを考えていきます。そのなかでいろんなお友達との関わりも楽しんで欲しいと思います。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「色々な友だちと関わる」「健康に過ごす方法を知り、生活に取り入れる」

う た：「かぜはともだち」「からたちのうた」

子どもたちの大好きなプールあそびを目前に控えましたが、体育あそびのサーキットでは壁倒立や、跳び箱を中心に組み組んでいます。“楽しい”の中にも、真剣なまなざしや“出来るようになりたい”という気持ちが強くみられるようになってきたように思います。

“かぼちゃの栽培を通して”

かぼちゃの種を植えしばらくはポリポットで育てていたのですが、芽が伸びていくうちに「これでは小さいかもしれない」という話になり、牛乳パックへ植え替えました。朝のお集まりが終わった後に、だいち組で集まり水やりをするのが自然と日課になっていきました。「かぼちゃ出来るかな」と楽しみにしていただいちさんでしたが、その思いとは裏腹に水やりの時に腕が当たり茎が折れてしまったり、植え替えの時に見失ってしまったりと、8本あった苗が半分になってしまいました。

6月のある日、かぜグループで紙飛行機を飛ばして遊んでいた時に、かぼちゃの苗にぶつかり折れてしまいました。“かぼちゃの苗が折れた”というニュースに、他のだいちさんも「なんで折れちゃったん?」「誰がしたの?」と集まってきます。担任も驚きとショックのあまり「ええ!」と声を出してしまったほどです。「OOくんたちが紙飛行機をぶつけちゃって折れてん」と話す子どももおり、重々しい雰囲気の流れ始めました。「どうしよう…」と苗に手を添えみんなで見つめていたその時、一人の子が「ほら、この折れたところまで土入れたら?」とおどけた様子で声をかけてくれたのです。飛行機を握りしめている友だちのことは一切責めようとはせずに、暗い雰囲気を打ち消そうとするような優しさが見られた瞬間でした。そこからは、「かぼちゃの葉っぱって、食べられないのかな」という一言から「凶鑑! 凶鑑で調べよう!」とだいち組全員が動き始めました。「アリが食べるかもしれない」と考えた子どももおり、「みんなが調べられるようにいっぱい持ってきたよ」と笑顔で虫の凶鑑を沢山抱えやってきたのは、紙飛行機を飛ばしていたお友だちでした。



“キアゲハの幼虫を飼ってみたい”

「ねえ、この幼虫飼いたい」ケースに入れて相談にやってきたAくん。「だいちさんにも相談してみようか」と持ち掛け、さっそくだいち組の幼虫会議が開かれました。「すぐに死んでしまうから、飼いたくない」「外の方が広いおうちだから」と言う子どももいましたが、A君はどうしても育てたいようで、涙ながらに「だいち組になってみんなで育てたことないから、どうしても育てたい」と話していました。自然と凶鑑で調べたり、より大きなケースを探すことで他の子どもも“飼ってみたい”と気持ちが傾いていましたが、大切なみかんの木の枝を折らなければいけないことに気付くだいちさん。他にも“さんしょう”と“からたち”の葉も食べると凶鑑で知り、からたちへの興味が広がっていきました。「お母さんに聞いてみたけど、からたち知らないって」「先生たちも知らなかったよ」「果物に詳しい人に聞いてみたら?」「それって、誰かな?」「う〜ん…お店の人は?!」ということで八百屋さんに行き尋ねてみたり、教えてもらった公園で探してみたり…。それでもなかなか見つからず、今もからたちを探しているところです。「からたちが見つかったら、飼ってもいいかな」と、A君の心の中ではキアゲハの幼虫への思いが続いています。一人の子の興味から広がっていったからたちや、A君の“育ててみたい”という思いがこれからどのように膨らんでいくのか楽しみです。

“担任の思い”

大人は経験の中で“生き物を殺してしまうことはいけない”と知り当たり前のように理解していますが、まだ経験の少ない子どもたちにとっては、何度も経験するなかで学ぶことも必要なのではないかと思います。“飼ってみたい”という欲求を抑えてまで我慢することが、子どもたちにとって本当の意味での学びとなるのか、担任も悩みながら日々関わっています。話し合いを重ねる中で言葉を交わしたり、自分の思いを伝える機会は増えてきましたが、“こうしないといけない”だけでなく、“こうしたい”という純粋な気持ちも大切にのびのび育てて欲しいと感じます。子どもたちと一緒に、何通りもの可能性を見つけていきたいと思っています。



保護者の方からのおはなしコーナー



最近生き物に興味が出てきたようで、登降園時には必ず、「ちょうちょ!」「グワッ(かえる)」を見ると言ってききません。この前のかめる君をしっかりと見たくて、寝転んで目線を合わせてずっと見て話しかけていました。

ふたば組 ゆみこさん

最近お米をとぐ音がすると「ぼくがしたかったー」と言いながら毎回途中から手伝ってくれる兄。家で育てた胡瓜も収穫した途端「今から切る?」と包丁を使っていいかと催促。妹は寝る準備のお布団の中で手遊び歌を「もう1回もう1回」と指を1本立てながらリスエスト。保育園でやったこと、見たことを家でもやりたいと言ってくれる2人にうれしく思う今日この頃です。

いぶき組 よしえさん



送迎時にはあおむしやカエルに夢中になって動かず、園庭ではダンゴ虫探しに没頭していると聞きました。生まれてから特別何かに興味を抱くことがなかった息子ですが、どうやら虫が好きみたいなので、3歳の誕生日に昆虫図鑑を買ってあげると、毎日開いては「これは?これは何?」と聞いてくれます。これからもいろいろな事に興味をもってたくさんものに触れ合ってもらいたいです。

つぼみ組 ことみさん

入所して間もない時に、コップでお茶が飲めると先生に聞いて、ビックリ!!しました。家で実践すると、すごく満足気な表情を浮かべ、すごく少しずつではありますが、お兄さんに近づいているんだと思いました。小さな変化も、見つけてあげられる様にならねばと感じた瞬間でした。

めばえ組 ゆきさん



～お台所から～

はじめじめした梅雨が終わると、いよいよ夏に向けて本格的に暑くなってきますね。

夏の時期の献立では、暑さで食欲が落ちてしまわないような内容を心掛けています。又、免疫力をアップさせる旬の食材も取り入れています。(オクラ・モロヘイヤ・つるむらさきなど)

6月の食育活動の様子

・梅干し作り(だいち組)

梅のヘタを上手に爪楊枝で取ったり、匂いを嗅ぐと「めっちゃいいにおい!!」「桃みたいなおいする!!」など興味津々でした。9月頃に出来上がる予定です。

・じゃが芋餅を丸める(いぶき組)

茹でたじゃが芋を潰して丸めると、それぞれ形も様々で、「見て見て!!」と楽しそうに見せてくれました。

・とうもろこしの皮むき(つぼみ組)

少し固い皮も頑張ってみてくれて、とうもろこしが見えると「うわぁ!!」と言って嬉しそうな顔を見せてくれました。

その他にも、ひかり組は梅ジュースを作ったり、いぶき組は育てたラディッシュを食べたり、だいち組では育てた豆苗を食べたり、厨房からはホットプレートを使って、ポップコーン屋さんをしました。

子どもたちが食材に触れることで、新しく発見したり、感じたり、考えたりすることを大切に考えて、来月の食育活動も進めていきたいと思います。

7月の献立 旬の野菜

オクラ	つるむらさき	モロヘイヤ
とうもろこし	にがうり	ピーマン
なす	トマト	スイカ

7月に予定している食育活動

- ・焼きとうもろこし・・・ひかり組
- ・ピーマンの種取り・・・つぼみ組
- ・枝豆のさやむき・・・いぶき組
- ・きゅうりの浅漬け・・・だいち組



真剣に梅のヘタを取っています



じゃが芋餅を作りました



ポップコーン待ちで大行列



★お願い★

- 幼児は7月13日(水)、乳児は7月19日以降に、プールあそびが始まります。(～8/25(木)まで) 検温は必ずお願い致します。

検温の記載がないと入水できません。

手紙を配布しますのでご確認ください。

※プールあそびは、基本、火・水・木の3日間です。
月曜日と金曜日はお休みです。

- 暑い日が続いています。水分補給は、冷たいものでなく、常温のものをこまめに摂取するようにしましょう。ひやりんは常温で提供しています。

- 7月1日に七夕の集い、2日に七夕まつりがあります。笹飾りは4日(月)に持ち帰り頂きます。

- 食中毒が流行する季節となりました。手洗いを励行し、外食はお気を付けください。

- 朝の登園時、幼児クラスのお子様が保育者のいないところで遊んでいることがあります。園を出られるとき、必ず保育者に声をかけてから出勤してください。



7月の予定

- 1日(金) 七夕のつどい
- 2日(土) 七夕まつり
- 6日(水) 耳鼻科検診
- 13日(水) プール開き(つぼみ～だいち)
(めばえ・ふたば組は19日以降開始)
ソーメン流し(保護者のお手伝い)
- 15日(金) 絵画
- 19日(火) 警察立ち合い不審者訓練
- 20日(水) 誕生会
保健師の巡回指導
- 27日(水) 絵画

毎週木曜日は体育指導があります。
(14日～はプール指導の予定)

子育て支援事業

- 21日(木) 救急セミナー
- 28日(木) ベビーマッサージ

8月の予定

- 5日(金) 同園会(今まで、かえで保育園を卒園したこどもたちを招待します。できるだけ家庭保育のご協力をお願いします。)
卒園児へのご案内は近日中に発送します。

夏期保育は8月10日から17日となります。
夏の期間は職員が夏期休暇を取らせていただきます。この期間は、できるだけ家庭保育のご協力をお願いします。

こんなことしたよ♪

6月10日(金)につぼみ、幼児のクラスで、親子遠足がありました。梅雨時期だったのにもかかわらず、暑いぐらいの快晴のお天気となり、まさに遠足日和となりました。臨海公園では、親子でのパラバルーンやお父さんによるリレーなどで大盛り上がりでした。特にパラバルーンでは、お母さん、お父さんの作った大きなバルーンの中に子どもたちが入って、とても楽しそうでした。そして、クラスごとでのお弁当では和気あいあいとした雰囲気の中、職員も一緒になって楽しくお昼を食べました。午後からのオリエンテーションでは、臨海公園を先生たちからのクイズやミッションをクリアしながらお母さんお父さんと一緒になって回りました。

めばえ、ふたばも今年度初のお弁当日となりました。いつもとは違い、お母さんが作ってくれたご飯に、みんなとても嬉しそうでした。ありがとうございました。

